

自民党川口支部大会 2月11日(祝)



ご 挨拶

建国記念の日に、本年も大勢の皆様方ご出席のもと、盛大に支部大会を開催することができました。党员、党友、ご支援いただいている皆様に心よりお礼申し上げます。

まず去年を振り返りますと、大変な年でありました。100年に一度の経済不況をはじめ、新型コロナウイルスなど大変な事には枚挙にいとまがない年でありました。そんな中、総選挙をはじめ、日本全国で民主の風が吹く中、皆様の絶大なるご理解とご支援をいただき、我が川口においては、市長選に我が党が推薦した岡村幸四郎氏の四選、同日行われた市議補選に公認候補者の杉本かよ氏の両氏の堂々たる当選、岡村幸四郎市長の実績が評価された選挙でした。さらには、8月に行われた衆議院議員総選挙では、自民党が大敗する中、我が新藤候補は比例区ではありますが、自民党では埼玉県内第一位の得票を持って当選させていただきました。まさに「川口自民の底力を見せてあげたり」でありました。また、「政治家新藤義孝が評価され」そして盟友鳩ヶ谷の皆様方のご支援を賜りなし得た結果の賜です。ありがとうございました。

そして、政権交代という政治的な大転換が行われ、だから当然といえば当然なのですが、各所に現在までとは違った政治手法、政策転換が出てきていて、財政、外交をはじめ色々なところに混乱、疑問、そして不安などが生じ始めている現状です。

しかし、この大敗した自民党を我々は立ち直らせなければなりません。まず、冷静になることです。国が政権交代したということですが、我々の地方はどうか、埼玉県でいえば最大会派は自民党です。上田県政と上手にやっております。当面は、川口における埼玉県政は全く変わらず、市長、市議団とスクラムを組んで川口の要望100%まではいきませんが、大きな成果をあげております。特に市民の皆様、そして市長から、これだけは私が議長職の時にと依頼された「川口北東部警察署設置」についても知事が理解を示し、必要性の位置付けはさせていただきましたので、大いに期待いただきたいと思います。

さらに当然の事ながら、岡村市長と自民党市議団は、市民生活の向上を第一に、特に市議団は、川口市の細部に至るまで市民要望の実現に向け頑張っております。

また国ですが、まさに国では与野党逆転の中、なりふり構わない民主党の陳情システムの中で

の要望について、大いに疑問があるわけですが、私達は今まで通り新藤代議士を中心に国政に要望を続けていくことです。新藤さんには野党第一党の自民党として大論陣を張っていただき、自民党きっての論客を目指していただきたいと思います。

次に今年の参院選及び来年の地方統一選挙に際し、言及させていただきます。

国で去年8月の総選挙の大敗北(川口・鳩ヶ谷地区は新藤当選)の中、自民党の政権奪還への道のは大変厳しいと考えます。特にこれから迎える参院、本日、関口昌一候補予定者がおいでになっております。さらに来年の地方統一選挙に関しては相当の覚悟と反省のもとに臨まねばなりません。それは、今年の参院の結果が、そのまま大きく来年の選挙に影響をすることを考えねばなりません。

いつもお話しさせていただいているとおり、ここ特に10年、地方自治の大変革時代に突入しております。今地方自治は、まさに地方分権から地方主権の時代に入ろうとしております。地方分権一括法、三位一体の改革、さらに市町村合併特例法を推進することにより地方自治体の決定権(権限)は大きく拡大されました。しかし同時に自治体には自己責任も伴う時代になって参りました。今求められるのは、議会の監視能力の重要性であります。さらに議員個々に求められる見識、能力、期待は益々大きくなって参りました。

そこで、それらに答えるために、我々議員にとり次の2点が必要不可欠と考えます。

第一に、自らを律して自己研鑽に励む大切さです。

時代のニーズに合わせ「自らを変えていかねばならない」時代に突入しております。つまり、既に多事、多難、激変の時代に突入しております。議会人として最優先は議会、そして閉会中の公務視察。これらは当然最優先として責務を果たさなければなりません。そして常に襟を正し、さらなる自己研鑽に励み、住民の声に真摯に耳を傾けなければなりません。

第二に、自民党の議員、そしてこれから自民党議員を目指す人は、自分の支持、支援を拡大するためだけに、自民党の組織に頼らないでください。ただ自民党だからというだけで支援をお願いすることはもう止めていただきたいと思います。元々自民党の組織は、選挙をご支援いただく場合の基礎的、中心的部分なんだということです。それを核として、自分自身、自ら支援を拡大し、大きくしていただきたいと思います。そして、そのためには自分が自民党議員として今まで何を行ってきたか、どんなことに取り組んできたか、また今何を行っているか、さらにこれから何を行っていくのかといった、いわゆる実績、行動を理解していただき、明確に政策を訴えて議員活動をきちっと評価していただこうではありませんか。

そしてその結果、議員個人がおおいに評価され、市民から信頼される議員を目指すことです。そして、そうすることこそ結果的には、自民党川口支部の底上げにおおいにつながっていくと確信しております。

以上、特に今の地方議員に大切な2点を挙げましたが、これらが守れない人は自民党として議員活動は無理であり、これらの積み上げこそが自民党への信頼回復と、大きな期待、評価につながり政権奪還の第一歩になると確信しております。

自民党川口支部長 奥ノ木 信夫

平成22年2月11日 リリア音楽ホールにて